



# いってきます

## 玄関でのあいさつ



チエコ・ジョーンズ  
**Chieko Jones**  
シドニー・ジャパニーズ・  
スクール  
(オーストラリア、ニュー  
サウスウェールズ州)

### 授業のねらい

ロールプレイを通じて、玄関に置かれているものや玄関で交わされるあいさつなど、日本人の住居や日常生活、習慣を学ぶ。また、玄関を中心に自国と日本の住居を比較する。

### 学習項目

#### 言語面

##### 機能

- ❖ 出かける時にあいさつをする
- ❖ 出かける人にあいさつをする
- ❖ 帰宅した時にあいさつをする
- ❖ 帰宅した人にあいさつをする
- ❖ 他人の家を訪問してあいさつをする

##### 表現

- ❖ ~にいってきます、いってらっしゃい、ただいま、おかえりなさい、ごめんください、などのあいさつ

##### 語彙

- ❖ あいさつ、玄関に置かれているものの名称

#### 文化面

現代の日本と西洋の家屋の類似点を考える  
 日本と自国の家屋の違いを調べ、違いの文化的背景を話し合う  
 日本の家における玄関の重要な役割について学ぶ

## レッスンプラン

### 用意するもの

- 玄関のイラスト(資料1\*)
- ロールプレシート(資料2\*)
- ワークシート(資料3\*)

### 授業の進め方

#### 準備

1. 模擬玄関を教室に作り、下駄箱のかわりになるようなものを用意する。ドアは教室のドアで間に合う場合もあるが、それが不都合であれば、引き戸でも開き戸でもいいので、とにかくドアがあることを想定させる。
2. 学習語彙を授業開始前に黒板に書いておく。
3. 資料1～3を配る。

#### 1. 資料1(5分)

資料1を見て、玄関に何があるか、それらは何のために使うのかを話し合わせる。また、日本の玄関と自分たちの家の入り口を比較させる。類似点、相違点は何か、相違点があればそれはなぜかなどについて考えさせる。

#### 2. 名称を教える(10分)

資料1に描かれているものの名称(下駄箱、ドア、上がりかまち、花瓶など)をすべて挙げる。

#### 3. 資料2(10分)

教師と一緒に、資料2の会話を声を出して読ませる。

#### 4. ロールプレイ(7分)

1. 児童を指名し、みんなの前でロールプレイを演じさせる。
2. 上がりかまちがない場合は、床にテープなどを張って代用する。そうすることで、上がりかまちがなくとも、ドアから入って一段上がることを児童たちに想像させることができる。

#### 5. 書く練習(3分)

資料1に描かれているものの名称を書く練習をさせる。

#### 6. 宿題の指示

資料3を宿題としてやってくるよう指示する。

#### 7. 評価

- ◆ ロールプレイ
- ◆ ワークシート(資料3)

#### 備考

家の玄関を取り上げることで、この授業を日本の住居を紹介する入り口にしたいと考えた。玄関で展開されるコミュニケーションを通じて、児童は日本人の日常の行動や習慣の一部を知ることができる。その大部分は児童が自分たちの行動や習慣と結びつけて考えることができるが、児童たちの興味をふくらませるような相違点もいくつかある。たとえば、かつてすべての日本の家にあった玄関の引き戸がしだいに西洋式の開き戸になってきているが、このドアとオーストラリアのドアと一つだけ顕著な違いがある。それは、日本の開き戸はふつつ外側に開くが、オーストラリアはその逆である。児童たちの観察力を試すために、その違いを描いた資料を準備した。これは日本の開き戸の開き方の背景、たとえば、スペースを大きくとらなくてすむこと、などについて話し合う材料にもなる。

このレッスンプランで紹介したトピックのほかに、次のようなことも関連した授業で扱った。これらの場合も、児童の年齢や学習レベルに合わせて、学習語彙や表現を選ぶことが大切である。

1. 子どもたちが登校のために家を出、帰宅する。
2. 父親が出勤のために家を出、帰宅する。
3. 母親が買い物に行くために家を出、戻ってくる。
4. 子どもたちが友だちのうちにいくために家を出、帰宅する。
5. 客が訪れ、去る。
6. 荷物が宅配される。

ロールプレイで交わされる会話の表現は、少々不自然かもしれない。しかし、このレッスンプランは、日本語を母語とせず、また日本社会で暮らしていない子どものためのものだ。このような子どもに教える日本語はていねいな表現のほうがいいのか、子どもらしい表現のほうがいいのか、意見は分かれるが、私は前者の意見である。

#### 玄関について

玄関は日本人の生活の場の一部になっている。日本の住居や旅館の特色の一つが玄関である。都会の高層マンションにおいてさえ、玄関はその長い歴史で果たしてきた重要な役割を現代の日本人の生活でも引き続き果たしている。

辞書では「玄関」を「(正面の)入り口」とか「入り口の間」と説明しているだけだが、このスペースには別の意味がある。「玄関」という漢字が、その意味を理解する手がかりを与えてくれる。「玄」は神秘、暗黒界、不可解、見えない世界、不明瞭な世界であり、「関」は人の出入りをチェックする重要な場所の

ことを示す。以前は、玄関には宗教的な意味がおそらくあったのだろうが、現在は、玄関は内と外、知っている世界と知られざる世界、清潔な世界と汚れた世界の間の緩衝地帯と見ることもできる。他人の家のプライベートな空間に入る時に、外で履いてきた（汚れた）履きものを脱ぎ、清潔な屋内用のスリッパに履きかえる。屋内の床は、玄関の床より一段高くなっている。

玄関のつくりは簡単だ。玄関の床には多くの場合、部屋とは違って、石やタイルが使われている。そのおかげで、屋外の舗装道路から木と畳の屋内の温かい雰囲気へスムーズに移動できる。玄関には靴を収納する家具がある。これは下駄を履かなくなった今も下駄箱と呼ばれることが多い。家族の履きものをこの下駄箱にしまい、訪問客の履きものはふつう下駄箱には入れないで、客が帰る時に履きやすいように上がりかまちのそばに揃えておく。

玄関の広さによっては、帽子とコートを掛ける家具、座って履きものを脱ぐ際に用いる座ぶとんや腰

掛けが置いてある。玄関はあまり飾りたてない。生け花や盆栽、または花をさした花瓶や季節の飾りものを下駄箱の上に置くだけのことが多い。

#### 選考委員会から

初等教育レベルの学習者が対象であることを考えると、ロールプレイで挙げられている場面のほかに、学校に行く前や帰ってきた時という場面を設定し、その際に親とどのような会話をするのかを考えさせるといいでしょう。また、友人同士のインタラクションを体験させるのも大切でしょう。使われる日本語はもう少し自然なものがいいでしょう。このレッスンプランを実践する教師が学習者に応じて表現を変えるなどの工夫をしてください。

これに中等教育レベルのプラン「どうぞよろしく」と組み合わせるとより深い学習ができます。

# 玄関

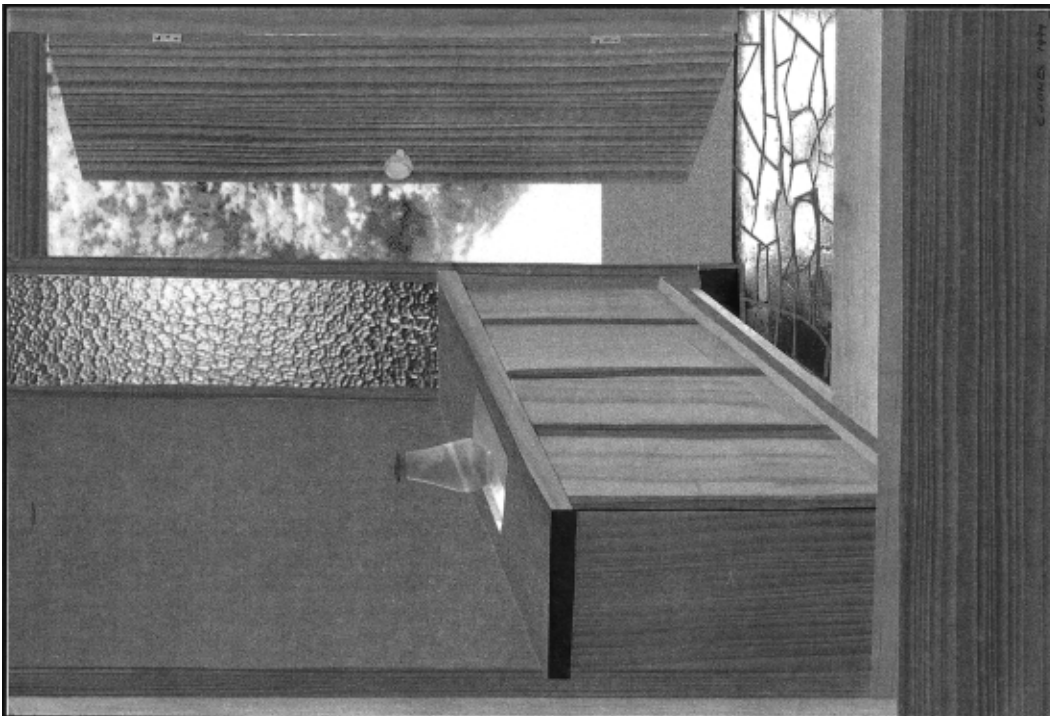
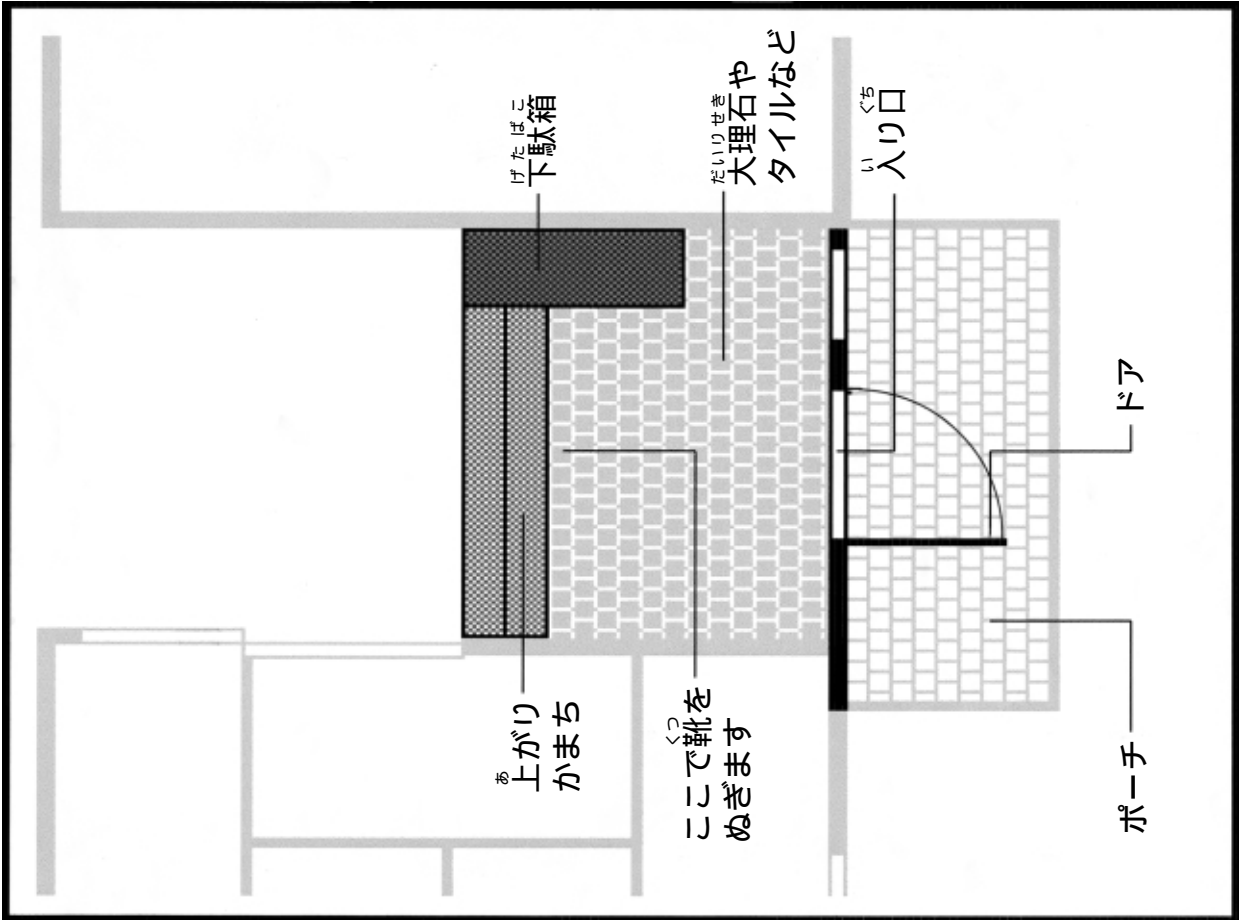


イラスト: チエコ・ジョーンズ

## ロールプレイシート

### 場面1

子どもが学校に行こうとしているところ、帰ってきたところ。

子ども：いきます。《がっこうにいてまいります》

おかあさん：(ドアを開けながら)いてらっしゃい。《車に気をつけてね》

《子：はい、きをつけます》

おかあさんは子どもを見送ったあと、ドアを閉める。そして、少したってから子どもが帰ってくる。

子ども：ただいま。

おかあさん：おかえり《なさい》。《つかれたでしょう》

\*《 》の中は少し高いレベル向け。

学校のほかに、次のような場所が考えられる。

デパート、動物園、スーパー、図書館、本屋、魚屋、会社、公園、銀行、田中さんの家、また、ほかの家族を登場させてもいい。

日本で多い姓は、さとう、すずき、たかはし、たなか、わたなべ、やまだ、やまもと、ほんだ、など。児童にこれらの名前の役をさせてもいい。

### 場面2

佐藤さんが田中さんの家を訪ねました。ドアホーンを鳴らします。佐藤さんと田中さんは知り合いです。

たなか：(家の中から)どなたですか。

さとう：さとうです。

たなか：(ドアを開ける)さとうさん、こんにちは。

さとう：こんにちは。たなかさんは、おげんきですか。

たなか：はい、げんきです。さとうさんは、おげんきですか。

さとう：はい、げんきです。

(包みを田中さんにさし出す)どうぞ。

たなか：どうもありがとうございます。

さとう：どういたしまして。さようなら。

たなか：さようなら。

(注)このとき、おじぎを忘れないようにする。

### 場面3

引き戸を開け、宅配便の配達員が入ってくる。

はいたついでん：ごめんください。やまださんのうちですか。

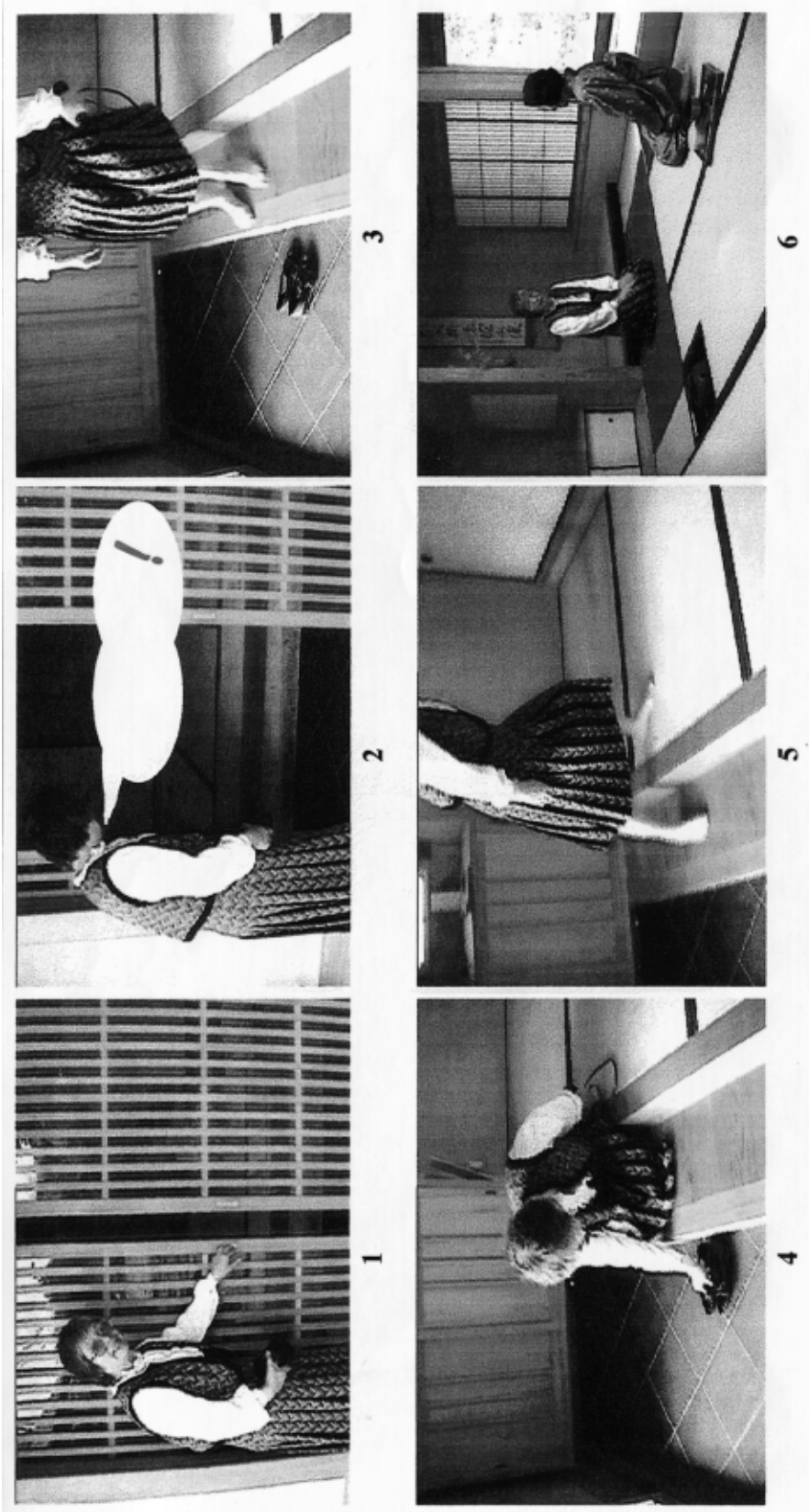
すずき：いいえ、ちがいます。やまださんはとなりです。

はいたついでん：どうもすみませんでした。

すずき：どういたしまして。

宅配便の配達員はおじぎをして、去っていく。

# ワークシート



(しゃしん1) なにを していますか。  
 (しゃしん2) なんと いていますか。  
 (しゃしん3) どこですか。したことを ふたつ  
 いて / かい て ください。

(しゃしん4) なにを していますか。なぜ？  
 (しゃしん5) スリッパを はいていません。  
 なぜですか。  
 (しゃしん6) なにが みえますか。